

1. 日蓮 2. 空海 3. 行基 4. 雪舟

1. 国家の力だけで建設を進めるため、行基などの僧侶が民衆に協力を呼びかけることは禁止された。
2. 天皇は、全国に国分寺・国分尼寺を建立することを命じ、東大寺をその中心に据えた。
3. この大仏は、運慶や快慶などの彫刻家を中心となって、武士の気風を反映して造られた。
4. 大仏の建立は、紫式部が源氏物語を執筆し、国風文化が全盛を迎えた時期に行われた。

1. 白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に敗北し、日本への侵攻を警戒したため	2. 東北地方の蝦夷(えみし)を制圧するための拠点として、大宰府の機能を強化したため	3. 班田収授法に反対する九州の豪族たちが、大規模な反乱を起こす予兆があったため	4. 遣隋使の派遣を継続するために、朝鮮半島南部への軍事的な影響力を維持するため
--------------------------------------	--	--	--

1. 御成敗式目 2. 公事方御定書 3. 律令 4. 武家諸法度

1. 国司と郡司はともに都の貴族から選ばれる決まりであり、数年ごとに全国の地方を交代で回ることによって不正を防いだ。
2. 現地の有力な豪族が国司として天皇から直接任命され、そのもとで中央政府から派遣された官吏が郡司として実務を監視した。
3. 国司と郡司はともに現地の有力豪族による世襲制とされ、中央政府が関与せず独自の徴税を行う権利を持っていた。
4. 中央政府から派遣された官吏が国司として地方を統括し、そのもとで現地の有力な豪族が郡司に任命されて実務を担った。

1. 男子は兵役のためにすべて都へ送られた結果、地方に残ったのが女子ばかりになり、それがそのまま戸籍に記載されたから	2. 墾田永年私財法によって私有地が認められたため、税負担の軽い女子の名義で広大な土地を所有しようとしたから	3. 男子にのみ課せられていた調・庸・雑徭・兵役といった重い負担を逃れるため、戸籍上で男子を女子として届け出たから	4. 収穫の約3%を納める租が女子には免除されていたため、収穫物を隠す目的で戸籍の性別を偽ったから
--	--	---	---

1. 「墾田永年私財法」により、公地公民の原則が崩れ、貴族や寺院による荘園開発が進むきっかけとなった。	2. 「三世一身の法」により、三代にわたる私有が認められたことで、口分田の返還が完全に行われなくなった。	3. 「大宝律令」により、土地の売買が自由化され、農民が自らの土地を自由に処分できるようになった。	4. 「新田開発令」により、すべての農民に新しい土地が平等に分配され、班田収授の仕組みが強化された。
---	--	---	--

1. 氏族の祖先を神として祀ることで、豪族たちの結束を強めようとする氏神の思想。

2. 現世の苦しみを逃れ、死後に極楽浄土へ生まれ変わりを願う浄土信仰の思想。

3. 仏教の教えによって国家を鎮め、社会の不安や疫病から国を守ろうとする鎮護国家の思想。

4. 政治を批判する勢力を抑えるため、特定の宗派のみを公認して思想を統制しようとする思想。

1. 庸 2. 租 3. 雜徭 4. 調

1. 唐から日本に対して、国交を断絶し使節の受け入れを拒否する通告があったため	2. 日本国内で平将門の乱などの大規模な反乱が起き、派遣の予算が不足したため	3. モンゴル帝国（元）が中国大陸を支配し、日本との間の航路が遮断されたため	4. 唐の国力が衰退して学ばべき価値が低下し、かつ往復の航海が極めて危険であったため
---	--	--	--

1. 中国の歴史書を典拠とする、これまでの伝統的な慣習を重んじたものである。

2. 平安時代の貴族が執筆した随筆を、初めて元号の典拠に採用したものである。

3. 武士が政治の中心となった鎌倉時代の文学を、初めて典拠としたものである。

4. 日本の古典を典拠として、初めて日本の元号が選ばれた事例である。

1. 大陸から稲作の技術とともに青銅器や鉄器が伝わり、強力な勢力を持つ王が各地に現れるようになった。
2. 宋に渡って禅宗を学んだ道元が、越前国に永平寺を建立して厳しい修行による悟りを説いた。
3. 聖武天皇の遺品が東大寺の正倉院に納められ、シルクロードを通じて伝わった西アジアの工芸品などが現代に伝えられている。
4. 足利義満が明と貿易を開始し、勘合を用いることで倭寇と正式な貿易船を区別して経済的利益を追求した。